学校番号	122

平成31年度　　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅱ	単位数	2単位	年次	２年次
使用教科書	「書Ⅱ」　（光村図書）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・書道Ⅰの授業で学んだことを発展させて、書道の創造的な諸活動を行い、個性豊かな作品を作ることを目指します。
・漢字の歴史を追いながら作品を制作し、書の文化と伝統についての理解を深めます。
・立体的な書として「刻字」作品を制作し、自己表現の幅を広げます。
・共同制作として、書道パフォーマンスによる大作に挑戦します。

2　学習の到達目標

書道の創造的な諸活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな表現と鑑賞の能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:書への関心・意欲・態度	b:書表現の構想と工夫	c:創造的な書表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	創造的な書表現をするために、基礎的な能力を生かし、効果的な表現の技能を身に付け表している。	日常生活の書の効用や書の伝統と文化について幅広く理解し、その価値を考え、書のよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・観察 ・レポート ・ワークシート	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
1学期	漢字の書（書体の変遷）	・篆書による学習 基本・臨書・鑑賞 「大盂鼎」・「石鼓文」 ・「篆書崔子玉座右銘四屏」	○	○	○	○	a:篆書の成立やその表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:篆書の美を感受し、表現を工夫している。 c:表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:篆書の造形美や特徴を深く理解し、書と文字と文化について幅広く考え、篆書のよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
		・隷書による学習 基本・臨書・鑑賞 「乙瑛碑」・「居延漢簡」 ・「隷書崔子玉座右銘」	○	○	○	○	a:隷書の美とその表現技法について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b::隷書の美を感受し、表現を工夫している。 c:表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:書と文字と文化について幅広く考え、隷書のよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
		・行書草書による学習 基本・臨書・鑑賞 ・「草書諸上座帖巻」・「集王聖教序」・「松風閣詩巻」 ・「十七帖」　・「真草千字文」	○	○	○	○	a:行書草書の成立や特徴について関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:行書草書の美を感受し、表現を工夫している。 c:表現技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d: 書と文字と文化について幅広く考え、草書のよさや美しさを味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

2学期	2字創作	・二字熟語による創作作品制 作（５書体による書き分け） 半切１/３ 相互鑑賞会	○	○	○	○	a:学習してきた古典を背景に、漢字作品の制作に意欲的・積極的に取り組もうとしている。 b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:自己表現のための撰文や用具・用材の選択を適切に行い、創造的な表現の技能を身に付け表している。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	漢字仮名交じりの書	・漢字仮名交じりの書 書道パフォーマンス 企画 練習 演技撮影 相互鑑賞	○	○	○	○	a: 大字書の制作に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。 b:自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。 c:体全体を使って大作を制作している。 d:大作作品のよさや迫力を感じ、互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	刻字	・刻字 書稿制作 籠字 彫る 彩色 仕上げ 相互鑑賞会	○	○	○	○	a: 立体書としての美の表現に興味・関心を深め、基礎・基本の刀法や表現技法を主体的に身に付けようとしている。 b:刻字の表現分野を理解して感性を豊かにし、創造性豊かな表現の工夫をしている。 c:刻字の表現をするための刀法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:刻字の造形美や刻刀が奏でる立体美を感じ取っている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
3学期	鑑賞	・芸術祭 展示 発表 相互鑑賞	○	○	○	○	a: 作品を意欲的・積極的に展示している。 b:創造性豊かな展示や発表の工夫をしている。 c:書表現をするための技法を身に付け、自己の表現活動に発展させている。 d:互いの作品を鑑賞し、そのよさや美しさを創造的に味わっている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品
	仮名の書	・仮名による学習 基本・臨書・鑑賞 連綿・散らし書き メッセージカード 硬筆	○	○	○	○	a:仮名の歴史やその美（連綿、散らし書きなど）について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:仮名の書の美と基礎・基本的な技法を学び、表現を工夫している。 c:基礎的・基本的な連綿や散らし書きの技法を身に付け表している。 d: 日本の書の伝統と文化について幅広く理解し、仮名の書のよさや美しさを感じ取っている。	・観察 ・レポート ・ワークシート ・提出作品

※　表中の観点について　a:書への関心・意欲・態度　b:書表現の構想と工夫　c:創造的な書表現の技能　d:鑑賞の能力
※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。